



保健・安全だより 7月

2021年7月
伊文保育園

夏の強い日ざしや高温多湿の気候は、子どもの体に大きな負担がかかります。元気そうに見えても、体は意外に疲れています。周囲の大人が正しい知識を身につけて、暑い夏も楽しく安全に過ごせるようにしていきましょう。

熱中症に気をつけて!

熱中症は高温多湿の場所で、体内の水分・塩分のバランスが崩れたり、体温調節機能がうまく動かなかったりすることでおこります。マスク着用もリスクを高めるため、注意して見守ることが大切です。

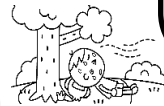
熱中症ならないために

- ☆室内環境を整える
(扇風機・エアコン)
- ☆水分をこまめにとる
- ☆暑い昼間の外出はなるべくさける
- ☆戸外に出るときは帽子をかぶる



熱中症?と思ったら

- ☆水分の補給
(イオン飲料など少量の塩分の入った水分を補給する。)
- ☆涼しい場所で休ませる
- ☆体を冷やす
(首の後ろに冷たいタオルなどあてる。風を送る。)



こんな時は救急車!

- ・意識がない
- ・高熱が続く
- ・けいれんをおこしている
- ・水分補給が出来ない



夏に流行する病気

ヘルパンギーナ

- *症状→高熱・のどの痛み。
特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、痛みが強くてます。(乳児はミルクが飲めないほど。)水分が取れない時は、早めに病院を受診しましょう。



手足口病

- *症状→手のひらや足の裏、口の中に小さな発疹や水ぼうがができます。(熱がでることも)
症状が治まっても、2~3週間は便からウイルスがでているため注意が必要です。発疹が治まってからの登園がのぞましいです。



咽頭結膜炎(プール熱)

- *症状→高熱やのどの痛みの他、目の痛み・かゆみ・充血など結膜炎のような症状。
アデノウイルスによる感染症で感染力が非常に強いので注意が必要です。登園許可書が必要です。



帽子はつばが広く、
通気性の良い素材の
物がおすすめです!

帽子をかぶりましょう

プール事故に気を付けて

水遊びが楽しい季節になりました。「溺れる」というと、バチャバチャと激しい動きを想像しがちですが、溺れている時は声も出せず、手足も動かさないものです。すぐそばで人が溺れていても気づかないことさえあります。小さな子どもは必ず、大人の手の届く範囲で遊ばせ、目を離さないのが鉄則。浅くても子どもは溺れます。油断せず注意してください。



(セコムHP参照)